別記様式第6号(第9条関係)

行政機関等匿名加工情報の利用に関する誓約書

○○(以下「乙」という。)は，国立大学法人新潟大学(以下「甲」という。)と締結した次の契約において，行政機関等匿名加工情報の取扱いが含まれている業務(以下「本業務」という。)の利用条件及び実施に関し，以下のとおり誓約する。

利用件名

利用期間

　(法令等の遵守)

第1条　乙は，個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号。以下「法」という。)，国立大学法人新潟大学個人情報の管理に関する規程(平成17年規程第19号。以下「個人情報管理規程」という。)その他関係政令等(以下「法令等」という。)を遵守するものとする。

　(定義)

第2条　「行政機関等匿名加工情報」とは，個人情報管理規程第2条第13号に規定するものをいう。

2　本業務で取扱う行政機関等匿名加工情報は，別紙1に掲げるものを甲が作成し，乙が取扱うものをいう。

3　「利用条件」とは，行政機関等匿名加工情報を利用する条件として，別紙2で定めるものをいう。

　(管理責任者)

第3条　乙は，行政機関等匿名加工情報の管理を図るため，次の者を管理責任者として置く。

　管理責任者：

2　乙は，管理責任者を変更した場合は，書面により甲に通知するものとする。

　(秘密保持)

第4条　乙は，本業務の遂行上知り得た行政機関等匿名加工情報について，秘密事項としてその保護に努めるとともに，甲の事前の承諾なしにこれを第三者に提供してはならないものとする。

2　前項の承諾を得る場合は，書面により得るものとする。

3　乙は，甲の事前の承諾を得て行政機関等匿名加工情報を提供した第三者(以下「丙」という。)に対して，本誓約書と同等の措置を講じさせるとともに，その旨を明記した書面を乙及び丙の連名で甲に提出するものとする。

4　乙及び丙が本業務を派遣労働者に行わせる場合には，労働者派遣契約書に第1条の規定を明記し，本誓約書と同等の措置を講じさせるものとする。

　(目的外使用の禁止)

第5条　乙は，行政機関等匿名加工情報を本業務以外のいかなる目的にも使用してはならないものとする。

　(契約範囲外の複写・複製の禁止)

第6条　乙は，本業務において甲からの提供を受けた行政機関等匿名加工情報及び行政機関等匿名加工情報が記録された媒体を甲の承諾又は指示のある場合を除き，契約範囲外の複写・複製を行わないものとする。ただし，磁気媒体記録のバックアップ等，安全管理上必要最低限の複製については，この限りではない。

　(契約範囲外の加工・改ざんの禁止)

第7条　乙は，本業務において甲からの提供を受けた行政機関等匿名加工情報及び行政機関等匿名加工情報が記録された媒体を甲の承諾又は指示のある場合を除き，契約範囲外の加工・改ざんを行わないものとする。

　(管理状況の検査等)

第8条　甲は，乙の行政機関等匿名加工情報の管理状況(丙の管理状況を含む。)について定期検査等により確認を行うものとし，乙は甲の検査に協力する義務を負うものとする。

　(返還等)

第9条　乙は，甲から要請があったとき又は本業務が終了したときは，行政機関等匿名加工情報が含まれるすべての物件を直ちに甲に返還し，又は引き渡すとともに，乙のコンピュータ等に登録された行政機関等匿名加工情報を消去して復元不可能な状態とし，その旨を甲に報告するものとする。ただし，甲から別途に指示があるときはこれに従うものとする。

2　乙は，甲の指示により行政機関等匿名加工情報が含まれる物件を廃棄するときは，行政機関等匿名加工情報が判別できないよう必要な処置を施して廃棄しなければならない。

　(事故の発生等)

第10条　乙が本業務の遂行にあたり，行政機関等匿名加工情報の紛失，漏えい，破壊，改ざん等(以下「行政機関等匿名加工情報の紛失等」という。)が発生した場合は，直ちに甲に報告するとともに，乙の費用負担において適切な措置を講じるものとする。なお，当該措置を講じた後，直ちに当該事故及び当該措置の報告並びに事故の再発防止策を書面により甲に提示するものとする。

2　行政機関等匿名加工情報の紛失等が乙の責めに帰すべき事由によるものである場合は，甲は乙に対し契約解除の措置を講ずることができるとともに，乙は甲に損害賠償の責を負うものとする。

3　前項の損害賠償の額は，甲乙協議の上決定するものとする。

　(有効期間)

第11条　本誓約書は，契約締結日に発効し，本業務の終了時(以下「有効期間」という。)まで有効とする。ただし，本誓約書における秘密保持義務は，本誓約書の有効期間の後も存続するものとする。

　(協議事項)

第12条　甲及び乙は，本誓約書に定めのない事項及び本誓約書の規定の解釈に疑義が生じた場合には，信義誠実の原則に則り，甲乙協議の上，処理解決するものとする。

　　　　年　月　日

　 国立大学法人新潟大学長　　殿

住　　所

　　　　　　　　　　　　　　　氏　　名

**(別紙1)**

**1.本業務で取扱う行政機関等匿名加工情報**

**(1) 作成に用いる個人情報ファイルの名称**

**(2) 行政機関等匿名加工情報の名称**

**(3) 行政機関等匿名加工情報に含まれる本人の数(データ量)**

**(4) 行政機関等匿名加工情報に含まれる記録項目及びその内容(下表のとおり。)**

|  |  |
| --- | --- |
| 記録項目 | 内容 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**2.本業務で取扱う行政機関等匿名加工情報の提供方法**

**(別紙2)**

**本業務で取扱う行政機関等匿名加工情報の利用目的，利用方法その他利用条件**

|  |
| --- |
|  |